



湯沢警察署 交通課通信

2019. 3
第 1 号
交通課
交通指導係

1 過去3年間における湯沢警察署管内の人身交通事故発生状況について

	発生件数	死者数	負傷者数
H 2 8 年 中	88	1	106
H 2 9 年 中	89	1	110
H 3 0 年 中	66	3	71

※ 昨年は、一昨年と比較して発生件数は大幅に減少しましたが、死者数が増加しました。



2 平成30年中における湯沢警察署管内の交通事故特徴

- 車対車の事故が43件（全体の約65%）と多かった。
- 発生時間帯は日中が多く、発生場所では交差点及び交差点付近の発生が多かった。
- 高齢運転者が起こした事故は約30%を占めた。
- 原因別では、前方不注視や安全不確認といった運転の基本である「見る・確かめる」が疎かなために起きた事故が約29%と最も多く、次いで一時不停止、横断歩行者妨害、信号無視等の交通違反が絡んだ事故の発生も多かった。
- 路線別では、市町道での発生が約42%と最も多く、国道での発生も約35%と多かった。



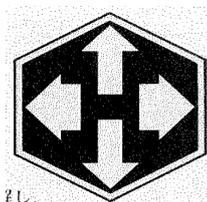
3 新入学（園）期の交通安全運動について

- 運動期間～4月6日（土）から12日（金）までの7日間
- 運動重点
新入学（園）児童・園児を中心とした子供の交通事故防止
～歩行者ファースト意識の醸成～



【子供を事故から守りましょう】

4 この図形を見て何が見えますか？



この図形を見て初めに「4つの矢印」が見えた人は、「黒字のH」に気付いていないと思います。注意（矢印）と不注意（黒字のH）は表裏一体の関係です。一方へ注意力を集中しすぎると他方は不注意となります。事故原因で多いのは「前方不注視や安全不確認、動静不注視」です。

☆運転中の注意力は万遍なく行き渡らせましょう☆

 **日没前後 1 時間が事故多発時間帯** 
～夕暮れ時は早めのライト点灯を～